

二 尊 院 の 御 詠 歌

松 濤 基 作 曲
鈴 木 錦 承 振 付

唱え奉る 二尊院の		正座して合掌
御詠歌に		左足をくずして静かに立ち左足を揃えながら両手を下す
歌	手	足
あし	両手両側から頭上に挙げ	右足右斜前に一步ふみ出し
…	両指先をつけて山型を作る	右上を仰ぎみる
イ	両手上から両側斜下におろす	左足を更に右足の前に踏み
	顔は徐々に左に向ける	出して両膝を少し曲げる
び	両手両側から頭上に挙げ	左足を左斜前に一步ふみ出し
イ	両指先をつけて山型を作る	左上を仰ぎみる
…	両手上から両側斜下におろす	右足を更に左足前に踏み出して
き	顔は徐々に右に向ける	両膝を少し曲げる
の	両手両側から体前に掌を上にして	右足を前に一步踏み出し
…	揃えてすくい上げる	体重をかけ上を仰ぎみる
オ	両手を内廻して掌を下に	更に後の左足を右足に
(休)	揃えて前に伸す	揃えて両膝を曲げる
や	両手揃えて左下から右上に	膝を伸して右足から
ま	すくいあげ更に頭上から掌を下向きにし	右の方へ三步進む
…	廻して右上に掌を上にしてすくいあげる	
ど	顔も手につれて廻す	
り		
の	右手そのまま(掌上向き上掌)左手	左足先を静かに
オ	掌を下向きにしてゆっくり左下に流し降ろす	左手の方向に向ける
…	顔は左手につれて左下に向ける	
お		
の		
し	両手揃えて右下から左上に廻し更に	前の動作を左へ行う
…	頭上を通して右下から左上にすくい	即ち左方へ左足から
だ	あげる 顔も手につれて廻す	三步進む
り		
お		
…		

歌	手	足
の	左手そのまま右手掌を下向きに	右足先を静かに
	してゆっくり右下に流し降す顔は	右手の方向に向ける
	右手につれて右下に向ける	
(休)		
な	両手揃えて(両掌外向き)上を廻して右下へ	右足より一步右まわりする如くふみ出す
が	掌を外向けに押えるように右横に下ろす 目線は斜め左上に	
な	つづけて右を廻して左横に掌を前向けに	左足二歩目
が 	押えるように降す 目線は斜め右上に	
し	「なが」と同じ動作を右下に行う	右足三歩目
	目線は斜め左上	
イ	「なが」と同じ動作を左下に行う	左足四歩目(一まわりした型)
	目線は斜め右上に	
	両手両側下から両側を廻して	右足一步前にふみ出し体重を
	ゆっくり頭上に作円する	かけ上を仰ぎみる
よ		
を		左足を右足に揃える
	(そのままの姿勢を保つ)	
(休)		
いの	両手両側下から上に廻して	右足一步後退し
！ ：	更に胸にゆっくりと合掌する	
る	体は右斜に向く	体重をかける

歌	手	足
― (半拍休)	両手両側下から上に廻して	
こ ―	ゆっくりと胸に合掌する	
の	体は左斜に向く	左足一步後退し 体重をかける
―		
― (半拍休)	「いのる」の動作を繰り返す	
オ ―	(顔は正面向き)	「いのる」の動作を
―		繰り返す
(休)		
て		「この」の動作を
―	「この」の動作を繰り返す	繰り返す
エ		(右、左、右、左と後退し四度合掌する)
―		
ら	両手両側下から頭上に廻して	細かくスリ足前進して
―		
―		
―		
―	合掌する	右膝を立ててひざまづく
―		
(二拍休)		
両手おろしつつ静かに正座して合掌する		

ポイント注意

- 【あしびきの】 体の向きと手の形。まず、体の向きを斜右に、次に斜左に向きます。手の形は山鳥の羽のように手首を曲げ、人差し指を少しそらします。そして右足を一步ふみだし正面を向きます。
- 【やまどり】 手の動き。特に手のひらの向きに注意しながら舞ってください。
- 【おーの一】 手と足の動き。手と足の動きの方向が同じになりますようにします。
- 【らー一ー】 ここでは充分に上を仰ぎます。